

# 第1号議案 平成29年度事業報告について

## I. 法人の概要

### 1. 名称等

公益社団法人日本造園学会

英文表記：Japanese Institute of Landscape Architecture

設立等：大正14年4月14日社団法人日本造園学会設立

平成24年4月1日公益社団法人へ移行

### 2. 主たる事務所の所在地

東京都渋谷区神南1丁目20番11号

### 3. 会員

会員種別	員数		増減(△)数
	本年度末現在 (H30.3.31現在)	前年度末現在 (H29.3.31現在)	
名誉会員	23	23	0
正会員	2,263	2,264	△1
準会員	15	13	2
賛助会員	64	63	1
購読会員	111	118	△7
計	2,476	2,481	△5

### 4. 会費

正会員12,000円、正会員(大学院生)9,000円、準会員(学部生)3,000円、  
賛助会員1口18,000円、購読会員1口12,000円

### 5. 執行体制

理事の数：20人(非常勤)

監事の数：3人(非常勤)

職員の数：4人(常勤4人、非常勤1人(～H29.5.31))

### 6. 公益目的事業

造園に関する調査研究、出版、講習・研修、専門教育推進・評価、表彰を通じて、造園に関する学術および技術の進歩をはかり社会の発展に貢献する事業

### 7. 収益事業等

なし

## Ⅱ. 事業の状況

### 1. 調査研究事業

#### (1) 一般研究

- ・ 研究推進委員会として、生態工学研究推進委員会、ランドスケープ技術連携研究推進委員会、風景計画研究推進委員会、ランドスケープマネジメント研究推進委員会、ランドスケープ教育・国際連携研究推進委員会を組織し、社会的要請に対応するための個別テーマによる研究を推進した。
- ・ これらの成果は、機関誌への掲載（出版事業）や全国大会における研究集会（講習・研修事業）等において公表した。

#### (2) 特別研究

- ・ 熊本地震復興支援調査委員会を組織し、平成28年4月に発生した熊本地震に関連する情報収集と調査研究活動を行った。また、平成29年9月に熊本地震ランドスケープ復興支援フォーラムを開催し、調査の内容を広く会員に共有するとともに、今後の熊本地震の復興支援において取り組むべき内容を検討した。
- ・ ランドスケープ遺産インベントリー作成を継続して進め、各支部において関連する情報収集と調査研究活動を行った。

### 2. 出版事業

#### (1) 機関誌「ランドスケープ研究」

- ・ 機関誌「ランドスケープ研究」第81巻第1号～第4号を編集、刊行した。
- ・ 記事の内容は、全国大会関連記事、特集企画に加え、各種の連載記事、学会からの連絡事項等とした。
- ・ 特集企画のテーマは、「地図がつなぐ複層のランドスケープ」(第81巻第1号)、「公民連携(PPP)がつくるランドスケープ」(第81巻第2号)、「持続可能なランドスケープと農業―生産から消費まで―」(第81巻第3号)、「都市の生物多様性指標」による基礎自治体の評価とその活用」(第81巻第4号)とした。
- ・ 連載記事としては、「生きもの技術ノート」(第81巻1号、2号、3号、4号)「海外の造園動向」(第81巻1号、2号、3号、4号)「造園雑誌アーカイブス」(第81巻2号、3号、4号)「これからのランドスケープの仕事」(第81巻2号、3号、4号)を掲載した。
- ・ 刊行作業では、造園に係わる研究者、実務者から構成される編集委員会を組織し、造園学術および技術に係わる各号のテーマや執筆者等を選定した。
- ・ 第82巻第3号までに掲載する特集企画および連載企画内容、執筆者等を検討した。

#### (2) 同研究発表論文集

- ・ 造園に関する会員の優れた研究論文を掲載した研究発表論文集をランドスケープ研究第81巻第5号として刊行した。研究発表論文集への掲載が決定した論文の第一著者は、全国大会（講習・研修事業）における発表が義務づけられる。
- ・ 論文集の刊行作業では、造園に係わる研究者から構成される論文集委員会を組織し、規程にしたがって投稿された論文を審査して、学術的水準を評価し、論文集への掲載の可否を決定した。

#### (3) 同オンライン論文集

- ・ 造園に関する会員の優れた研究論文、短報を科学技術振興機構（JST）が運営する「科学技術情

報発信・流通総合システム」(J-STAGE)で、オンライン論文集第10巻を電子ジャーナルとして刊行し、公開した。

- ・ 論文集の刊行作業では、造園に係わる研究者から構成される論文集委員会を組織し、年3回募集を行い、規程にしたがって投稿された論文等を審査して、学術的水準を評価し、論文集への掲載の可否を決定した。

#### (4) ランドスケープ研究増刊作品選集

- ・ 会員による優れた造園作品に関する報告を掲載した「ランドスケープ研究増刊作品選集 2018 (No. 14)」を刊行した。
- ・ 造園に係わる研究者や実務者から構成される造園作品選集委員会および造園作品選集刊行委員会を組織し、応募された作品についての書類審査、現地審査、掲載作品の選考、作品原稿の確認、編集方針の決定等を行った。

#### (5) ランドスケープ研究増刊技術報告集

- ・ 会員による優れた造園技術に関する報告を掲載した「ランドスケープ研究増刊技術報告集 (No. 10) 2019」の刊行準備を行った。そのために、造園に係わる研究者や実務者から構成される刊行委員会等を組織した。
- ・ ランドスケープ研究 81 巻 4 号および学会ホームページを通じて「技術報告集」に掲載する技術報告編と論説編の募集を行った。また、特集テーマ編を設けて「公共空間における新たな造園技術」に関わる技術報告と論説の募集も行った。

#### (6) Urban and Regional Planning Review (URPR)

- ・ 都市・地域計画に関する会員の優れた研究論文(英文)を科学技術振興機構(JST)が運営する「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE)で電子ジャーナルとして刊行し、公開した。
- ・ 刊行作業では、都市・地域計画等に係わる研究者から構成される論文集委員会を、日本都市計画学会および日本計画行政学会と連携して組織し、規定にしたがって投稿された論文を審査し、学術的水準を評価し、論文集への掲載の可否を決定した。

#### (7) Landscape and Ecological Engineering (LEE)

- ・ 国際誌 LEE (Landscape and Ecological Engineering) の国際コンソーシアム (ICLEE) へ参画し、刊行・編集に関わる活動を行った。

#### (8) 造園工事総合示方書

- ・ (一社)日本造園建設業協会との包括的連携事業の一環として、「造園工事総合示方書・技術解説編」(平成27年5月刊行)の内容の実効性の向上と広範囲にわたる活用を促進するために、造園工事全般にわたる基本原則をとりまとめて示す(仮称)「造園工事総合示方書・基本原則編」の刊行に向けた準備を行った。

#### (9) その他

- ・ その他、調査研究事業等に係わる出版物等を刊行した。

### 3. 講習・研修事業

#### (1) 全国大会

- ・ 平成29年度全国大会を、平成29年5月19日(金)～21日(日)に日本大学生物資源科学部湘

南キャンパス（神奈川県藤沢市）を主会場として、教育者、研究者、実務者、学生、市民等を広く対象とした公開シンポジウム、ミニフォーラム、研究発表会、受賞者記念講演、ポスター展示等を開催した。3日間にわたる全国大会の参加者は、総数延 442 名を数えた。

- ・ 5月19日（金）は、湘南地域の農業・緑・観光」をテーマとし、NPO 法人市民農園を広げる会、熊澤酒造、花菜ガーデンを対象とした見学会が開催された。また、学生公開アイデアコンペ「藤沢の軸をデザインする～北から南に、南から北へ～」の一次審査選考作品 11 組を対象とした二次審査会を開催した。
- ・ 5月20日（土）は、定時社員総会の他に、平成 28 年度日本造園学会賞の発表ならびに表彰式、学生アイデアコンペティション表彰式、日本造園学会賞受賞者講演会、公開シンポジウム「農の風景を組み込み活かした街づくり～湘南からの発進～」、大会企画展示、学生アイデアコンペの作品展示および交流会を開催した。
- ・ 5月21日（日）は、研究発表会（18セッション・64件）、教育職能フォーラム（1テーマ）、研究推進委員会フォーラム（3テーマ）、ミニフォーラム（8テーマ）、大会企画展示、学生アイデアコンペの作品展示を開催した。
- ・ 全国大会の成果は、機関誌等（出版事業）にも掲載し、公表した。
- ・ その他、平成 30 年度全国大会の企画・運営の準備等を行った。

## （2）支部大会

- ・ 平成 29 年度支部大会を、北海道、東北、関東、中部、関西、九州の各支部において開催した。広く教育者、研究者、実務者、市民、学生を対象にした見学会、公開シンポジウム、フォーラム、研究発表会、ポスター展示等を実施した。
- ・ 北海道支部大会を、平成 29 年 10 月 7 日（土）に、北海道大学農学部（北海道札幌市）にて開催した。研究・事例発表会（口頭発表 9 件、ポスター発表 23 件）、講演会「日本一変わっている花園・陽殖園 -ランドスケープ遺産・北の造園遺産-」、交流会等を開催した。また、研究・事例発表会では優秀な学生発表に対して表彰を行った。
- ・ 東北支部大会を、平成 29 年 10 月 14 日（土）～15 日（日）に、国際教養大学（秋田県秋田市）にて開催した。「海外からの来訪者からみた東北の町・自然の魅力を探る～都市公園から国立公園まで 東北地方の自然環境の多様性を活かす～」を大会テーマとし、研究・事例発表会（ポスター発表 2 件）、基調講演、パネルディスカッション、交流会、見学会等を開催した。また、研究・事例発表会では優秀な学生発表に対して表彰を行った。
- ・ 関東支部大会を、平成 29 年 11 月 11 日（土）～12 日（日）に、日本大学理工学部駿河台キャンパス（東京都千代田区）他にて開催した。現地見学会・現地セッション、事例・研究発表会（口頭発表 30 件、ポスター発表 23 件）、学生デザインワークショップサマースタジオ 2017「“ARIAKE LEGACY AREA” スポーツ文化の醸成と地域づくりを提案する」の成果発表会、公開シンポジウム「水面からの緑のまち」、交流会等を開催した。また、研究・事例発表会では優秀な発表に対して表彰を行った。
- ・ 中部支部大会を、平成 29 年 11 月 18 日（土）～19 日（日）に、人間環境大学岡崎キャンパス（愛知県岡崎市）にて開催した。研究・事例発表会（口頭発表 9 件、ポスター発表 16 件）、公開シンポジウム「岡崎城をめぐる歴史まちづくり-文化財と公園の視点から-」、見学会、交流会等を実施した。また、研究・事例発表会では優秀な学生発表に対して表彰を行った。
- ・ 関西支部大会を、平成 29 年 10 月 14 日（土）～15 日（日）に、兵庫県神戸市内及び兵庫県立淡路景観園芸学校（兵庫県淡路市）にて開催した。シンポジウム「これからの里山のあり方を展望する」、交流会、研究・事例発表会（口頭発表 26 件、ポスター発表 18 件）、見学会、交流会等を開催した。また、研究・事例発表会では優秀な発表に対して表彰を行った。

- ・九州支部大会を、平成29年11月18日(土)～19日(日)に、琉球大学千原キャンパス農学部(沖縄県中頭郡西原町)にて開催した。「観光における造園の役割とその力」を大会テーマとし、研究・事例発表会(口頭発表18件、ポスター発表8件)、公開講演会、見学会、交流会等を開催した。

### (3) 日中韓国際ランドスケープ専門家会議・国際シンポジウム

- ・日中韓ランドスケープ専門家会議およびシンポジウムの準備作業を、各国関連学会と調整して行った。

## 4. 専門教育推進・評価事業

### (1) JABEE 認定審査

- ・造園関連分野の大学等における実務者養成の支援、促進のためのJABEE(日本技術者教育認定機構)の認定審査・認定継続審査の受審、審査申請予定校の支援として、審査員の育成等に関する情報収集および情報提供を行った。

### (2) 環境・造園系専門職大学院認証評価

- ・環境・造園系実務者の養成機能の維持・向上のために、環境・造園系専門職大学院の適格性の認証評価を行うこととしており、平成29年12月に受審申請が1件あり、総務委員会、審査委員会において、審査スケジュール(平成29～30年度)等を審議・決定するとともに、受審校に対して自己点検評価項目等の通知、説明会を行った。
- ・大学設置基準等の一部を改正する省令の施行に伴い、環境・造園系専門職大学院評価基準の改定を行った。

### (3) 造園CPD制度(継続教育制度)の運営

- ・造園CPD制度に関して、会員登録、実施記録登録、実施記録登録証明書の申請、プログラム認定申請等の各種システムの運営、ならびに実施記録登録証明書の発行、認定プログラムの情報提供、各種問い合わせ等を行った。
- ・造園CPD会員の入退会や会員区分異動の対応、会員証の発行を行い、平成29年度末の会員登録者数は7,370人となった。
- ・平成29年度に認定した認定プログラムの総件数は530件となった。
- ・造園CPD登録実施記録審査委員会および造園CPD推進委員会登録実施記録審査検討(エビデンス)部会において、登録実施記録証明書の発行申請のあった記録を対象に、記録内容および証拠資料について審査を行った。平成29年度では、524通の審査を行った。
- ・その他、造園CPD制度ホームページ等による広報・普及活動、建設系CPD協議会等関連団体との情報収集・交換等を実施した。

## 5. 表彰事業

### (1) 日本造園学会賞・奨励賞・上原敬二賞

- ・造園に関する学術、技術および芸術の進歩をはかるため、造園に関し特に優秀な業績をあげた会員に、研究論文、技術、設計作品の3部門からなる「日本造園学会賞」を授与した。また各部門に「奨励賞」を設けて授与した。加えて、造園の分野において著述、教育あるいはその他広範な社会活動を通じて造園の進歩・発展ならびに啓蒙に多大な貢献をしたと認められる者に「上原敬二賞」を授与した。
- ・いずれも識見の高い研究者及び実務者から構成される学会賞選考委員会が、規程にしたがって

審査選考を行った。平成 28 年度に審査選考された授賞候補者について、理事会にて審議・決定し、平成 29 年度全国大会において表彰した。内訳は、日本造園学会賞は、研究論文部 3 件、著作部門 1 件、技術部門 2 件、事業・マネジメント部門 3 件、同奨励賞は研究論文部門 3 件、設計作品部門 1 件、技術部門 1 件、上原敬二賞 2 件、田村剛賞 1 件であった。また、平成 29 年度表彰の各賞の選考審査を行った。

## (2) その他

- ・ 若手研究者の支援と学術研究活動の活性化を図るために、全国大会における「学生アイデアコンペティション」、「全国大会ベストペーパー賞」、支部における各種表彰等を実施した。特定の課題に対する計画・設計作品、論文・発表等について、識見の高い専門家から構成される審査委員会を設けて審査する形式をとった。

## 6. その他

- ・ 公益法人としての運営の適正化を図るために、事務局機能の強化、各種規程・規則の改定および整備等に努めた。
- ・ 学会の公益事業に関する情報の発信や会員サービスの向上等に資するために、会員システムを導入し、学会ホームページの運用の改善を図った。

### Ⅲ. 役員等に関する事項

#### 1. 役員

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	職名 (H30.3.31 現在)
理事・会長	横張 真	H.13. 5.26	総括	無	東京大学大学院工学系研究科教授
理事・副会長	柴田 昌三	H.17. 5.14	支部・専門職	無	京都大学大学院地球環境学堂教授
理事・副会長	金子 忠一	H.19. 5.19	学会賞・校閲 ・専門職	無	東京農業大学地域環境科学部教授
理事	柳井 重人	H.21. 5.23	総務	無	千葉大学大学院園芸学研究科准教授
理事	深町加津枝	H.17. 5.14	企画・支部	無	京都大学大学院地球環境学堂准教授
理事	小野 良平	H.19. 5.19	学術	無	立教大学観光学部教授
理事	篠沢 健太	H.27. 5.23	編集・校閲 ・作品選集	無	工学院大学建築学部教授
理事	大黒 俊哉	H.21. 5.23	国際	無	東京大学大学院農業生命科学研究科教授
理事	加我 宏之	H.27. 5.23	論文集・校閲	無	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授
理事	荻野 淳司	H.27. 5.23	財務	無	アゴラ造園株式会社代表取締役社長
理事	三島 孔明	H.29. 5.20	CPD・JABEE	無	千葉大学大学院園芸学研究科准教授
理事	古澤 達也*	H.29. 5.20	編集・学会賞 ・専門職	無	国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長
理事	奥田 直久*	H.29. 5.20	企画・専門職	無	環境省自然環境局自然環境計画課長
理事	細川 卓巳	H.27. 5.23	技術報告集 ・国際	無	東京都建設局東部公園緑地事務所所長
理事	小林 新	H.29.5.20	作品選集 ・技術報告集	無	株式会社東京ランドスケープ研究所代表取締役社長
理事	近藤 哲也	H.29. 5.20	支部	無	北海道大学大学院農学研究科教授
理事	秋田 典子	H.29. 5.20	編集	無	千葉大学大学院園芸学研究科准教授
理事	雨宮 直子	H.29. 5.20	学術・熊本地震 復興支援調査	無	九州大学大学院 芸術工学研究院准教授
理事	渡辺 貴史	H.29. 5.20	論文集・校閲	無	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科教授
理事	斉藤 庸平	H.17. 5.14	総務・JABEE ・CPD・専門職	無	公益社団法人日本造園学会事務局長
監事	金岡 省吾	H.21. 5.23	監査	無	富山大学地域連携推進機構教授
監事	加藤 友規	H.25. 5.25	監査	無	植彌加藤造園株式会社代表取締役社長
監事	高橋 新平	H.27. 5.23	監査	無	東京農業大学地域環境科学部教授

※理事の就任年月日は新任の際の就任年月日である。

※表中\*印は「公益法人の設置許可及び指導監督基準」および「同運用指針」に該当する国家公務員出身者である。

## 2. 支部長

支 部	役名	氏 名	就 任 年月日	職 名 (H30.3.31 現在)
北海道	支部長	近藤 哲也	H.29. 4. 1	北海道大学大学院農学研究院教授
東 北	支部長	温井 亨	H.23.10.15	東北公益文科大学公益学部教授
関 東	支部長	田中 伸彦	H.28. 4. 1	東海大学観光学部教授
関 西	支部長	田中 充	H.28. 4.1	(公財)国際花と緑の博覧会記念協会専務理事
中 部	支部長	小池 敦夫	H.29. 4. 1	名古屋市みどりの協会
九 州	支部長	包清 博之	H.28. 4.1	九州大学大学院芸術工学研究院教授

## 3. 幹事

役名	氏 名	就 任 年月日	担当職務	職 名 (H30.3.31 現在)
幹 事	横田 樹広*	H.25. 7. 6	総 務	東京都市大学環境学部准教授
幹 事	大久保 悟*	H.19. 6.30	総 務	国立研究開発法人農業環境技術研究所主任研究員
幹 事	高山 範理*	H.23. 6.18	企 画	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所主任研究員
幹 事	寺田 徹*	H.29. 6.17	学 術	東京大学大学院新領域創成科学研究科講師
幹 事	武田 重昭*	H.25. 7. 6	論文集・校閲・熊本地震復興	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科助教
幹 事	土屋 一彬*	H.29. 6.17	編 集	東京大学大学院農学生命科学研究科助教
幹 事	飯田 晶子*	H.27. 6.27	国 際	東京大学大学院工学系研究科助教
幹 事	伊藤 弘*	H.15. 7.12	学会賞	筑波大学芸術系准教授
幹 事	雨宮 護*	H.23. 6.18	論文集 (オンライン)	筑波大学システム情報系社会工学域准教授
幹 事	岸 孝*	H.28. 6.25	作品選集	株式会社プレイスメディア
幹 事	菊池佐智子*	H.25. 7. 6	技術報告集	公益財団法人都市緑化機構企画調査部研究員
幹 事	荒井 歩	H.11. 7.10	JABEE	東京農業大学地域環境科学部准教授
幹 事	斉藤 庸平	H.29.6.17	CPD 推進	公益社団法人日本造園学会事務局長
幹 事	岡田 準人	H.27. 9.12	CPD プログラム認定	大阪産業大学デザイン工学部講師
幹 事	黒田 貴綱	H.29. 6.17	CPD プログラム認定	日本大学生物資源科学部富士自然教育センター
幹 事	水庭千鶴子	H.15. 7.12	CPD 登録記録審査	東京農業大学地域環境科学部准教授
幹 事	霜田 亮祐	H.29. 6.17	CPD 登録記録審査	千葉大学大学院園芸学研究科准教授

※表中\*印は総務委員会委員兼務。



#### 4. 職員

職 務	氏 名	就 任 年月日	担当 職務	備 考
事務局長	芥藤 庸平	H. 28. 5. 1	事 務	常 勤
事務職員	芹田 留美	H. 7. 4. 1	事 務	常 勤
事務職員	久住 悦子	H. 21. 10. 1	事 務	常 勤
事務職員	高橋 啓太	H. 29. 4. 1	事 務	常 勤
事務職員	神田紀喜	H. 24. 4. 1 ~H. 29. 5. 31	事 務	非常勤